

学 生 生 活 関 係

1. 指導教員

皆さんが有意義な学生生活が送れるように、単位修得・厚生・保健・一身上の問題・研究上の問題等皆さんを取り巻く種々の問題について、指導教員（または学生生活委員）が相談に応じますので指導や助言を受けてください。指導教員の割振は入学時に通知します。なお、1～3年次生の指導教員は入学時に通知した教員、4年次生以降の指導教員は卒業論文実習担当教員とします。

2. 掲 示

掲示板が大学から皆さんへの公式の通知手段です。

登校したら、まず掲示を見ることから大学での生活が始まります。大学からの諸君への通知・連絡は、直接口頭で伝達する以外はすべてこの掲示板で行います。したがって、掲示した事項については、諸君に浸透したものとして取り扱いますので、特に授業・試験・成績等履修上の事項については、十分注意してください。

掲示に注意しなかったために不都合を生じ、大きな不利益を被るのは諸君自身であることを心に留めておいてください。掲示を見なかったことを理由に、責任を免れることはできません。

登・下校時に掲示を見る習慣をつけてください。友人が病気などのために登校できないときは、代って見てあげるような友情があって欲しいものです。

また、薬学部では、専門教育科目について、休講・補講等の掲示物の一部を携帯電話やP Cから閲覧できるよう、WEB掲示板を開設しています。詳しくは、携帯電話又はP Cにより、下記URLから閲覧してください。使用方法の詳細については、1階廊下南側にある「薬学部学生・教員F D検討会」の掲示板を参照してください。

デジタル掲示板（Stork）：<http://pharm.okayama-u.ac.jp/system/stork/>

3. 学生旅客運賃割引証

学生旅客運賃割引証（学割証）は、自動発行機による学割証の発行ができます。直ちに発行できますので、大学会館玄関ホールに設置してある自動発行機を利用してください。学割証は、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的として実施されている制度ですのでその発行は、原則として次の目的をもって旅行する必要があると認められた場合に限ります。

- (1) 休暇・所用による帰省
- (2) 実験・実習などの正課の教育活動
- (3) 学校が認めた特別教育活動または、体育・文化に関する正課外の教育活動
- (4) 就職または、進学のための受験等
- (5) 学校が修学上適当と認めた見学または行事への参加
- (6) 傷病の治療その他修学上支障となる問題の処理
- (7) 保護者の旅行への随行

学割の発行枚数は、原則として年間10枚以内ですので計画を立てて使用してください。

4. 諸証明書

在学証明書、成績証明書、卒業見込証明書の発行は、大学会館玄関ホールに設置してある自動発行機を

利用してください。

証明書の郵送を希望するときは、宛先明記の返信用封筒（120円切手貼付）を添えて「岡山大学薬学部 教務学生係（〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1）」に申し込んでください。

5. 学生集会及び学生掲示

学部内において集会又は掲示をしようとする場合は「学部共通細則」・「学部共通細則取扱内規」によるほか、次の点に注意してください。

(1) 集会について

開催日の2日前までに所定の用紙により教務学生係を通じて学部長に願い出てください。

（届出用紙は教務学生係にあります。）

講義室等を使用した場合は、特に下記の事項を厳守してください。

- ・使用後は備品等の整理、戸締りを厳重にし、特に火気に留意すること
- ・使用後の確認を終えたら、直ちにその旨を教務学生係に連絡すること

(2) 掲示について

所定の掲示板に掲示してください。

届出印のない掲示物は撤去することがあります。

6. 学生ロッカールームについて

3年次生には、実習期間中及び授業中における着替えその他不要荷物等を保管するため、2階ロッカー室に各人のロッカーを貸与し、使用できるようにしています。

ロッカー使用に当たっては、特に火災、盗難に注意してください。

7. 学外からの呼び出し

学外からの電話による呼び出しを依頼されることがありますが、一人一人の居場所について把握できません。従って、大学では、電話口への取り次ぎは行いません。この点をあらかじめ承知し、家族や友人に知らせておいてください。

8. 就職について

就職は、学生諸君の将来に取り重大な問題であるので、指導教員、近親者、先輩等に相談し、慎重に検討し、選択してください。

なお、就職についての事務的な手続きは教務学生係で行います。就職に関する必要書類は、求人先により若干異なるが、あらかじめ次のものを準備しておいてください。

- (1) 履歴書（市販用紙ペン書）
- (2) 写真（名刺型）
- (3) 健康診断書（保健管理センターに作成してもらう。）

9. その他

大学の学生が教育研究活動中に不慮の事故によって本人が被った傷害や他人に与えた損害に対する全国的規模の統一的救済制度として、学生教育研究災害傷害保険制度等の保険制度がありますので、必ず加入してください。

学生支援センター学生相談室

1. 【学生相談室では何をしているの？】

学生相談室では、専任教員やカウンセラー、相談協力委員の教員、ピアサポーター（学生ボランティア）が、皆様のさまざまな悩みや葛藤の相談に応じています。

大学生活を送るなかで、修学上の問題、友人や教員との人間関係の問題、個人的な問題などで悩んだり葛藤を感じたりすることもあると思います。そうした悩みの多くは、家族や友人に相談して解決することでしょう。しかし、誰に相談すればよいかわからない、家族や友人には相談しづらい、家族や友人に相談しても解決しなかった、そのように感じたときは気軽に学生相談室を利用して下さい。一人で悩まないで、学生相談室のドアをノックして下さい。

*相談された内容の秘密は厳守します。どうぞ安心して利用して下さい。

2. 【学生はどのような相談をしているの？】

学生の相談内容はさまざまです。相談内容の例をいくつか挙げてみましょう。

- ・ 勉学の意欲がわからない、専攻分野が合わない、学部・学科をかわりたい、休学したい、将来の進路のこと。
- ・ 友人関係で悩んでいる、自分の性格のこと。
- ・ セクシュアルハラスメント、ストーカー行為。
- ・ 指導教員との関係、アカデミックハラスメント。
- ・ 宗教的な勧誘、悪徳商法で困っている。
- ・ 障がいのある学生の修学支援サービスに関すること。
- ・ ボランティア活動に関すること。 …など。

「とくに悩みはないけど・・・」という人も訪ねてきます。

3. 【どこにいけば相談できるの？】

相談の受付場所は、津島キャンパスの学生相談室と何でも相談窓口、鹿田キャンパスの学生支援センター鹿田室の3箇所があります。みなさんが利用しやすいところを訪ねてください。電話やメール、手紙でも相談を受け付けています。

開室は土日祝を除く毎日です。予約を優先します。

但し、手紙による相談は下記住所をお願いします。

〔宛先〕〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1

岡山大学学生支援センター学生相談室

【学生相談室】—津島キャンパス—

①開室時間 10：00～12：00／13：00～17：00

②受付場所 一般教育棟C棟1階

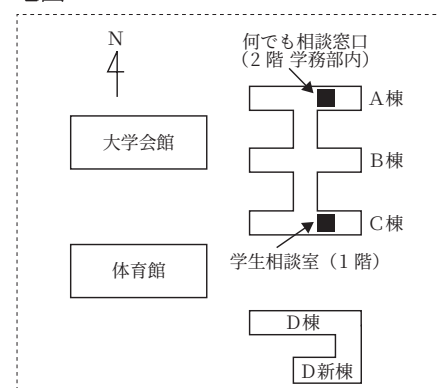
③連絡先〔電話〕 086-251-7169

〔E-mail〕 nayami@cc.okayama-u.ac.jp

【何でも相談窓口】一津島キャンパス

- ①開室時間 8:30～12:00／13:00～17:15
②場 所 一般教育棟A棟2階
③連絡先〔電話〕 086-251-7182
〔E-mail〕 nayami@cc.okayama-u.ac.jp

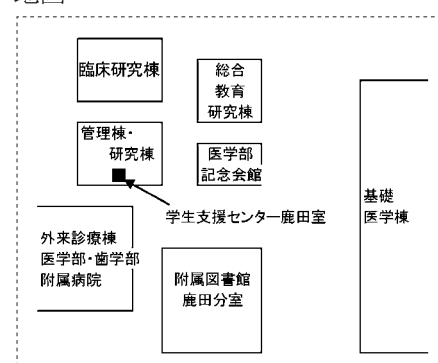
地図



【学生支援センター鹿田室】一鹿田キャンパス

- ①開室時間 10:30～12:00／13:00～17:30
②場 所 管理棟2階（学務課内）
③連絡先〔電話〕 086-235-6589
〔E-mail〕 nayami-2@cc.okayama-u.ac.jp

地図



4. 【学生相談室のことをもっと知るには？】

学生相談室のホームページ(下記のアドレス)があります。学生相談室のスタッフや「学生相談室だより」などが掲載されていますので、是非ご覧下さい。

岡山大学のホームページに掲載しています。

<http://kymx.adm.okayama-u.ac.jp/hp/soudan/index.html>

安全についての心得

はじめに

1. 初心者の心得

新入生の皆さんは、先生や先輩の教えに従い、大学での生活に一日も早く慣れるように心掛けることが必要です。

- (1) 実験機器、工具及び器具等は、構造や機能・性能をよく理解し、操作方法を習熟してから操作する。
同時に共同で使用するものであるので大切に使用する。
- (2) 小さなことでも、不審な点や分からないことがあったら先生や先輩に尋ねること。勝手な判断や早合点はケガのもととなるので、十分注意するべきである。
- (3) 慣れてくると、緩みがちとなるので、適度な緊張感を持ち続けて行動するよう心掛ける。

2. 火災について

火災が一度発生すると、人身事故につながる危険性が高く、建物や設備にも大損害をもたらすこととなります。火気を不用意に扱ったり、燃料や設備器具の正しい取扱いを知らなかったり、また、知っていても適切な操作をしなかったために引き起こした火災の例は非常に多いです。

大学でも、実験室等で火災が発生し、建物や実験機器・機械設備はもとより、長年苦勞して作成した研究データ等をも、一瞬にして灰にしてしまったという残念な例が数多く報告されています。

これらの火災を繰り返して発生させないためにも、日頃から各自が責任を持って十分注意しなければなりません。

3. 健康管理

健康な体や心は短期間に作られるものではなく、普段からの自己管理が続けられてこそ、その効果が現れてきます。また、適度な休養は、病気を防ぐ安全弁であり、疲労を早め早めに取り除くのが病気を防ぐ第一歩です。

健康管理の5ポイント

- (1) 規則正しい生活
- (2) 十分な睡眠と休養
- (3) バランスの取れた食事
- (4) 適度の運動
- (5) 趣味、娯楽等による気分転換

4. 健康診断

健康は、学生生活を続ける上で非常に大切ですので、普段からの健康管理が必要です。健康を維持するには、適切な自己管理を行いながら、定期的に健康診断を受けることが必要であり、万一病気になった時は、早期治療が大切です。

本学では、保健管理センターにおいて、年1回（春）の定期健康診断が行われるので、毎年必ず受診してください。特に、薬学科における病院や薬局での実務実習に臨む際には、実習生である皆さんが健康であることが求められます。

また、保健管理センターでは、医師、保健師、栄養士による健康相談を行っていますので、利用すると良いでしょう。

(詳細については、保健管理センターに問い合わせてください。TEL 086-251-7189, 7222)

5. 人身事故が起こったら

学内で事故のあったとき又はその場に遭遇したときは、慌てずその状況を的確に判断し、応急手当等施した後、保健管理センターに急行するか、「119」番で救急車を呼んでください。

同時に、学生支援課や大学の守衛所へ連絡してください。

[保健管理センター等の利用方法]

下記に電話をかけ、事故及び事故者の状況を告げ、指示を受けてください。

・保健管理センター TEL 086-251-7189, 7222

・学生支援課 TEL 086-251-7179

月曜日から金曜日は、午前8時半から午後5時まで

土・日曜日は、休み

・大学の守衛所（夜間も可） TEL 086-251-7096

◎薬学部近辺の病院又は医院等

救急病院

済生会総合病院	伊福町1-17-18	(TEL 086-252-2211)
いしま病院	伊島町2-1-32	(TEL 086-255-0111)
岡山市休日夜間急患診療所	東中央町3-14	(TEL 086-225-2225)
辻眼科医院	奉還町1-2-5	(TEL 086-252-0943)
田中耳鼻咽喉科医院	伊島町1-8-23	(TEL 086-254-9448)
難波皮膚科	津島南1-1-12	(TEL 086-252-3389)
岡北整形外科	津島東2-7-1	(TEL 086-255-0777)
学南耳鼻咽喉科	学南町2-4-50	(TEL 086-251-0633)
間野眼科	絵図町5-1	(TEL 086-255-0217)
つしまクリニック	津島新野1-2-23	(TEL 086-251-3388)
ほそたにクリニック	津島南2-5-25	(TEL 086-251-1100)

岡山大学学位規則（抜粋）

（目的）

第1条 この規則は、学位規則（昭和28年文部省令第9号）第13条第1項の規定に基づき、岡山大学（以下「本学」という。）において授与する学位について必要な事項を定めることを目的とする。

（学位）

第2条 本学において授与する学位は、学士、修士、博士及び専門職学位のうちの法務博士（専門職）とする。

（学士の学位授与の要件）

第3条 学士の学位は、本学を卒業した者に授与するものとする。

（専攻分野の付記等）

第17条 前条第1項の規定により授与する学位には、次項に定めるものを除き、別表第1に定めるところにより専攻分野の名称を付記するものとする。

2 専門職学位課程を修了した者に対し授与する学位は、別表第2に定めるところによる。

（学位の名称）

第18条 本学の学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、「岡山大学」と付記するものとする。

（学位授与の取消）

第22条 本学において学位を授与された者が、不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したとき又はその名誉を汚辱する行為があったときは、学長は、学士、博士及び法務博士（専門職）については教授会、修士、博士については教授会又は研究科委員会の議を経て学位を取消し、学位記を返納させ、かつ、その旨を公表するものとする。

2 教授会及び研究科委員会が前項の規定による議決を行う場合には、第14条第2項の規定を準用する。

（学位記の様式）

第23条 学位記の様式は、別紙様式第1から別紙様式第5のとおりとする。

（雑則）

第24条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し、必要な事項は、各学部及び各研究科において定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。

2～3 省略

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

2 改正後の別表第1の規定にかかわらず、平成18年3月31日に薬学部及び文化科学研究科に在学する者については、なお従前の例による。

3～4 省略

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。

2～3 省略

附 則

1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。

2～4 省略

別表第1（第17条第1項関係）

学位に付記する専攻分野の名称

学 位	学部, 研究科	専攻分野の名称
学 士	文 学 部	文 学
	教 育 学 部	教 育 学
	法 学 部	法 学 又 は 学 術
	経 済 学 部	経 済 学 又 は 学 術
	理 学 部	理 学 又 は 学 術
	医 学 部	医学, 看護学, 保健学又は学術
	歯 学 部	歯 学
	薬 学 部	薬 学 又 は 創 薬 科 学
	工 学 部	工 学 又 は 学 術
	環 境 理 工 学 部	環 境 理 工 学 又 は 学 術
	農 学 部	農 学 又 は 学 術
修 士	省 略	
博 士	省 略	

備考 学士の学位の専攻分野の名称中「学術」については、マッチングプログラムコースの課程を修めて卒業を認定された者を対象とする。

別表第2（第17条第2項関係） 省略

別紙様式第1

学士の学位記（マッチングプログラムコースの課程を修めて本学を卒業した者を除く者に授与する様式）

第 号
学 位 記
学 部 印 本籍（都道府県名） 氏 名 年 月 日生
本学〇〇学部〇〇学科所定の課程を修めたことを認める 年 月 日 岡山大学〇〇学部長 ㊟ 本学の卒業を認め、学士（〇〇）の学位を授与する
大 学 印 岡山大学長 ㊟

別紙様式第1－2～第5 省略

教 職 員 名 簿

職 名 (学位)	氏 名	研 究 室 等	ダイヤルイン
学 部 長 (医博)	岡 本 敬の介	薬学部本館 1 階 1 1 2 室 (学部長室)	251-7910

薬学部 薬学科

医療薬学講座

教 授 (薬博)	川 崎 博 己	薬学部本館 1 階 1 0 5 室	251-7970
〃 (〃)	黒 崎 勇 二	自然科学研究科棟 4 階 4 0 9 室	251-8644
〃 (〃)	綿 矢 有 佑	薬学部本館 2 階 2 0 2 室	251-7974
〃 (〃)	龜 井 千 晃	〃 3 階 3 1 6 室	251-7939
〃 (〃)	木 村 聰城郎	〃 2 階 2 0 7 室	251-7948
〃 (〃)	勝 孝	〃 2 階 2 3 7 室	251-7954
〃 (〃)	佐々木 健 二	〃 1 階 1 0 1 室	251-7971
〃 (医博)	岡 本 敬の介	〃 2 階 2 4 0 室	251-7945
〃 (薬博)	成 松 鎮 雄	〃 4 階 4 1 6 室	251-7942
〃 (〃)	三 好 伸 一	〃 4 階 4 4 7 室	251-7966
〃 (〃)	合 田 榮 一	〃 3 階 3 4 8 室	251-7960
准 教 授 (〃)	高 山 房 子	〃 4 階 4 4 9 室	251-7973
〃 (博[薬])	合 葉 哲 也	自然科学研究科棟 4 階 4 1 0 室	251-8641
〃 (薬博)	金 恵 淑	薬学部本館 2 階 2 0 2 室	251-7975
〃 (博[薬])	杉 本 幸 雄	〃 3 階 3 2 9 室	251-7940
〃 (薬博)	檜 垣 和 孝	〃 2 階 2 2 1－1 室	251-7949
〃 (博[薬])	井 上 剛	〃 2 階 2 2 5 室	251-7955
〃 (薬博)	根 岸 友 恵	〃 2 階 2 4 1 室	251-7946
〃 (〃)	有 元 佐賀恵	〃 2 階 2 3 9 室	251-7947
〃 (〃)	埴 岡 伸 光	〃 4 階 4 1 8 室	251-7943
〃 (学術[薬])	中 尾 浩 史	〃 3 棟 3 1 1 室	251-7985
〃 (博[薬])	北 村 佳 久	〃 3 階 3 4 7 室	251-7982
助 教 (〃)	佐 藤 聡	〃 2 階 2 0 0－3 室	251-7975
〃 (〃)	大河原 賢 一	〃 2 階 2 0 4 室	251-7950
〃 (〃)	高 橋 栄 造	〃 2 階 2 3 4 室	251-7927
〃 (〃)	四 宮 一 昭	医学部・歯学部附属病院薬剤部	235-7650

薬学部 創薬科学科

医薬品開発科学講座

教 授	(薬博)	宮 地 弘 幸	薬学部本館 4 階 4 0 7 室	251-7930
〃	(〃)	竹 内 靖 雄	〃 1 階 1 5 5 室	251-7964
〃	(〃)	波多野 力	〃 1 階 1 1 3 室	251-7936
〃	(〃)	森 山 芳 則	〃 4 階 4 5 1 室	251-7933
〃	(〃)	土 屋 友 房	〃 3 階 3 4 5 室	251-7957
〃	(〃)	榎 本 秀 一	〃 3 階 3 0 7 室	251-7951
准 教 授	(Ph.D.)	永 松 朝 文	〃 4 階 4 0 9 室	251-7931
〃	(博[薬])	伊 東 秀 之	〃 1 階 1 1 1 室	251-7937
〃	(〃)	加来田 博 貴	〃 1 階 1 4 4 室	251-7963
〃	(博[理])	表 弘 志	〃 4 階 4 4 3 室	251-7934
〃	(博[薬])	黒 田 照 夫	〃 3 階 3 3 2 室	251-7958
〃	(薬博)	御 舩 正 樹	〃 3 階 3 0 5 室	251-7952
〃	(〃)	岩 藤 章 正	〃 3 階 3 0 6 室	251-7988
助 教	(博[薬])	西 岡 弘 美	〃 1 階 1 5 6 室	251-7965
〃	(〃)	小 川 和加野	〃 3 階 3 3 1 室	251-7959
〃	(〃)	北 村 陽 二	〃 3 階 3 0 3 室	251-7952

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程 創薬生命科学専攻

衛生予防薬品科学講座 病態機能診断学分野

教 授	(医博)	戸 部 和 夫	保健管理センター	251-7213
教 授	(〃)	小 倉 俊 郎	保健管理センター	251-7221
准 教 授	(〃)	大 西 勝	保健管理センター (鹿田)	235-7982
講 師	(〃)	清 水 幸 登	保健管理センター	251-7215
助 教	(〃)	平 木 章 夫	保健管理センター	235-7214

技 術 部

部 長 (医博) (兼)	岡 本 敬の介	(医療薬学講座)	251-7945
技術専門職員 (博[薬])	駒 越 圭 子	薬学部本館 2 階 2 3 8 室	251-7956
〃	信 定 弘 美	〃 4 階 4 0 5 室	251-7932
〃	前 原 陽 子	〃 4 階 4 3 6 室	251-7968

附属薬用植物園

園 長 (医博) (兼)	岡 本 敬の介	(医療薬学講座)	251-7945
助 教 (博[薬])	谷 口 抄 子	附属薬用植物園	251-7998
技術補佐員	田 村 君 子	〃	251-7998

医療教育統合開発センター 薬学教育部門

准 教 授 (博[薬])	名 倉 弘 哲	薬学部本館 4 階 4 2 3 室	251-7984
--------------	---------	-------------------	----------

自然生命科学研究支援センター ゲノム・プロテオーム解析部門

部 門 長 (薬博) (兼)	森 山 芳 則	(分子生命薬品科学講座)	251-7933
准 教 授 (博[薬])	大 塚 正 人	ゲノム・プロテオーム解析部門	251-7268
技術補佐員	川 上 朝 子	〃	251-7262
事務補佐員	松 原 忍	〃	251-7261

平成21年度 特命教授(専門教育科目)

専門教育科目 (専門科目)

授 業 科 目	氏 名
国 際 医 療 保 健 学	篠 田 純 男
コ ン ピ ュ ー タ 化 学	玉 懸 敬 悦
薬 剤 学	木 村 聡 城 郎

平成21年度 非常勤講師 (ガイダンス科目及び専門教育科目)

教養教育科目 (ガイダンス科目)

授 業 科 目	勤 務 先	職 名	氏 名
薬 学 ガ イ ダ ン ス	岡山大学医学部・歯学部附属病院薬剤部	副 部 長	千 堂 年 昭
	岡山大学医学部・歯学部附属病院薬剤部	副 部 長	川 上 恭 弘
	株式会社出石薬局	代表取締役・薬剤師	出 石 啓 治
	株式会社林原	国際開発グループ 薬事・許認可担当	池 田 雅 夫
	太陽綜合法律事務所	弁 護 士	上 西 芳 樹
	第一三共株式会社 研究開発本部 生物医学第四研究所	所 長	高 子 徹

専門教育科目 (専門科目)

授 業 科 目	勤 務 先	職 名	氏 名
微 生 物 学	就実大学薬学部	准 教 授	塩 田 澄 子
人 体 解 剖 学	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	教 授	大 塚 愛 二
	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	准 教 授	西 田 圭 一 郎
	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	教 授	田 口 勇 仁
	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	助 教	百 田 龍 輔
コ ン ピ ュ ー タ 化 学	(株)ファルマデザイン	主 任 研 究 員	安 野 和 浩
病 理 学	岡山大学大学院自然科学研究科	講 師	荻 野 哲 也
内 分 泌 化 学	岡山大学医学部保健学科	教 授	景 山 甚 郷
	岡山大学保健管理センター	教 授	小 倉 俊 郎
薬 事 法 規	財団法人いしずえ	事 務 局 長	間 宮 清
衛 生 薬 学 Ⅲ	九州大学大学院薬学研究院	教 授	山 田 英 之
医 薬 品 開 発 学	神戸大学大学院医学系研究科	特 務 准 教 授	中 村 任
複 素 環 化 学	京都大学大学院薬学研究院	教 授	藤 井 信 孝
国 際 医 療 保 健 学	医療教育統合開発センター医学教育部門	教 授	越 智 浩 二
	医学部・歯学部附属病院卒後臨床研修センター (医科研修部門)	講 師	片 岡 仁 美
	聖路加国際病院教育研究センター	臨床試験コーディネーター	中 村 美 波 里
	AMDA	未 定	未 定
薬 物 治 療 学 Ⅰ	九州大学大学院薬学研究院	教 授	井 上 和 秀
医 薬 品 情 報 学	有限会社 赤松薬局	代 表 ・ 薬 剤 師	赤 松 昌 夫
	財団法人 結核予防会	医 師	木 村 幹 男
	Rainbow Biosciences	CEO	千 田 一 貴

授 業 科 目	勤 務 先	職 名	氏 名
コミュニティファーマシー	岡山県薬剤師会	副会長／薬剤師	赤 澤 昌 樹
	岡山県薬剤師会	理 事／薬剤師	役 重 昌 廣
	岡山県薬剤師会	理 事／薬剤師	小笠原 加 代
	岡山県薬剤師会	薬 剤 師	吉 田 和 司
	岡山県薬剤師会	薬 剤 師	緋 田 哲 治
臨 床 病 態 学Ⅰ	岡山大学大学院保健学研究科	准 教 授	臼 井 真 一
	岡山大学大学院保健学研究科	教 授	池 田 敏
	岡山大学大学院保健学研究科	教 授	片 岡 幹 男
	岡山大学大学院保健学研究科	教 授	草 地 省 藏
	岡山大学大学院保健学研究科	准 教 授	石 川 哲 也
	岡山大学大学院保健学研究科	准 教 授	柴 倉 美砂子
	岡山大学大学院保健学研究科	助 教	篠 畑 綾 子
実務実習事前教育 1	川崎医科大学附属病院	薬 剤 部 長	未 定
	川崎医科大学附属川崎病院	薬 剤 部 長	西 山 慶 治
実務実習事前教育 3	岡山済生会総合病院	薬 剤 科 長	洲 脇 純 三
	総合病院岡山市立市民病院	薬 剤 部 長	富 田 美智雄
	総合病院岡山赤十字病院	薬 剤 部 長	家 守 元 男
	岡山県薬剤師会	薬局実習委員長	出 石 啓 治
実務実習事前教育 4	倉敷中央病院	薬 剤 部 長	高 柳 和 伸
	津山中央病院	薬 剤 部 長	近 藤 祥 代
	国立病院機構岡山医療センター	薬 剤 科 長	市 場 泰 全
	岡山大学医学部・歯学部附属病院薬剤部	副 部 長	千 堂 年 昭
	岡山労災病院	薬 剤 部 長	石 井 嘉 之
病 院 薬 学	岡山大学医学部・歯学部附属病院薬剤部	部 長／教 授	千 堂 年 昭
臨床医薬品治療学Ⅱ	福井大学医学部附属病院薬剤部	教 授	政 田 幹 夫
臨 床 薬 学	岡山大学医学部・歯学部附属病院薬剤部	医療技術職員／薬剤師	岡 崎 宏 美
	岡山大学医学部・歯学部附属病院薬剤部	調剤主任／薬剤師	名 和 秀 起
診 断 治 療 学	岡山大学保健管理センター	教 授	小 倉 俊 郎
	岡山大学保健管理センター	教 授	戸 部 和 夫
	岡山大学保健管理センター	准 教 授	大 西 勝
	岡山大学保健管理センター	助 教	平 木 章 夫
	高梁中央病院	内 科 部 長	中 村 隆 資
	岡山大学保健管理センター	技術補佐員／臨床心理士	仁 科 舞 子
臨 床 病 態 学Ⅱ	岡山大学大学院保健学研究科	教 授	草 地 省 藏
	岡山大学大学院保健学研究科	教 授	片 岡 幹 男
	岡山大学大学院保健学研究科	教 授	池 田 敏
	岡山大学大学院保健学研究科	教 授	岡 本 基
漢方処方応用学	有限会社ふたば薬局	代 表 取 締 役	緋 田 哲 治

専門教育科目（専門科目(実習科目)）

授 業 科 目	勤 務 先	職 名	氏 名
基礎薬学系実習Ⅲ	自然生命科学研究支援センター ゲノム・プロテオーム解析部門	准 教 授	大 塚 正 人
衛生薬学系実習	自然生命科学研究支援センター 光・放射線情報解析部門(津島施設)	助 教	鑛 山 宗 利
	自然生命科学研究支援センター 光・放射線情報解析部門(津島施設)	助 手	蜂 谷 欽 司

薬学部庁舎管理

1. 施錠時間等について

薬学部棟における平日の各出入口の施錠・開錠は、機器により次の時間に行います。

なお、土曜日、日曜日及び祝日等は、終日施錠となります。

○ 施錠時間：18時00分

○ 開錠時間：8時30分

2. 施錠中の出入りについて

(1) 入館について

薬学部建物見取図に示す出入口番号の③，④，⑥の3箇所のみ入館できます。入館に際しては、専用のカードを使用し、開錠の上入館してください。

(2) 退館について

薬学部建物見取図に示す出入口番号の②，③，④，⑥から退館できます。①，⑤，⑦，⑧，⑨の出入口は締切りとなります。

(3) その他注意事項

各出入口において、入退館のため開扉した後、約90秒間以上開扉の状態となると、警報が発せられるので、速やかに入退館し、必ず扉を閉めてください。

3. 専用カードの配付について

(1) 教職員には、全員配付します。

(2) 学部4年次生・大学院学生等については、必要に応じて各講座に配付したカードを教授から受領し使用してください。学部1～3年次生については、教務学生係より必要期間貸与します。

(3) カードは全て番号を登録してあるので、紛失等の場合は直ちに、会計係へ申し出てください。

4. 印刷室について

印刷室の施錠開錠時間は、上記1のとおりとします。

施錠中の使用については、従来どおりとします。なお、使用後は必ず電源を切ってください。

5. 施設等の使用について

テニスコート等施設を時間外に使用する場合は、事前に教務学生係へ申し出てください。

6. 講義室及び情報実習室の使用について

授業やセミナー等で使用していない時間帯は、自習等のために講義室及び情報実習室を使用することができます。ただし、使用できる時間帯は、完全管理上の理由から、午前7時30分から午後9時00分までとします。

7. その他

不明な点については、会計係へ照会してください。

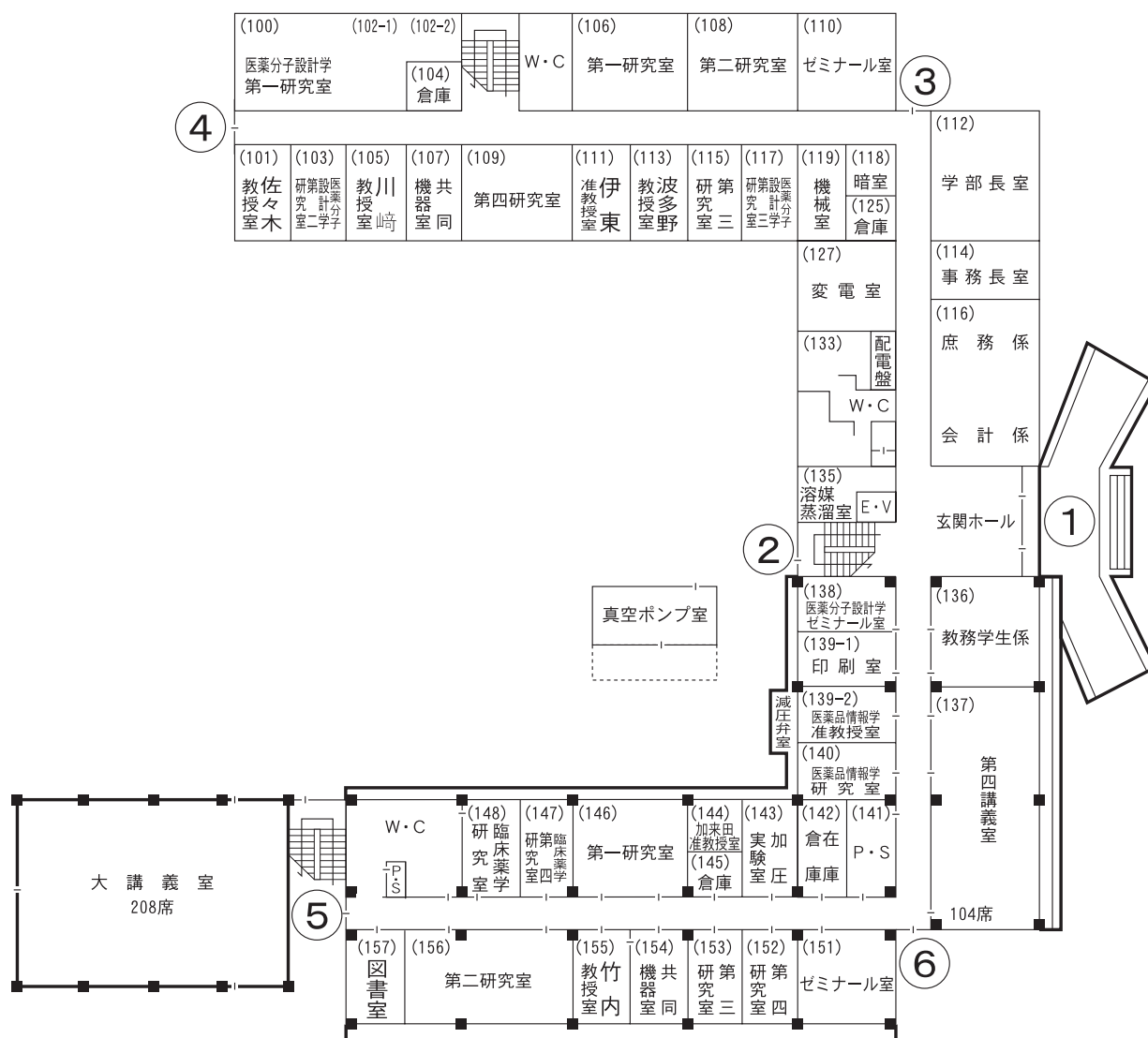
以 上

薬学部建物見取図

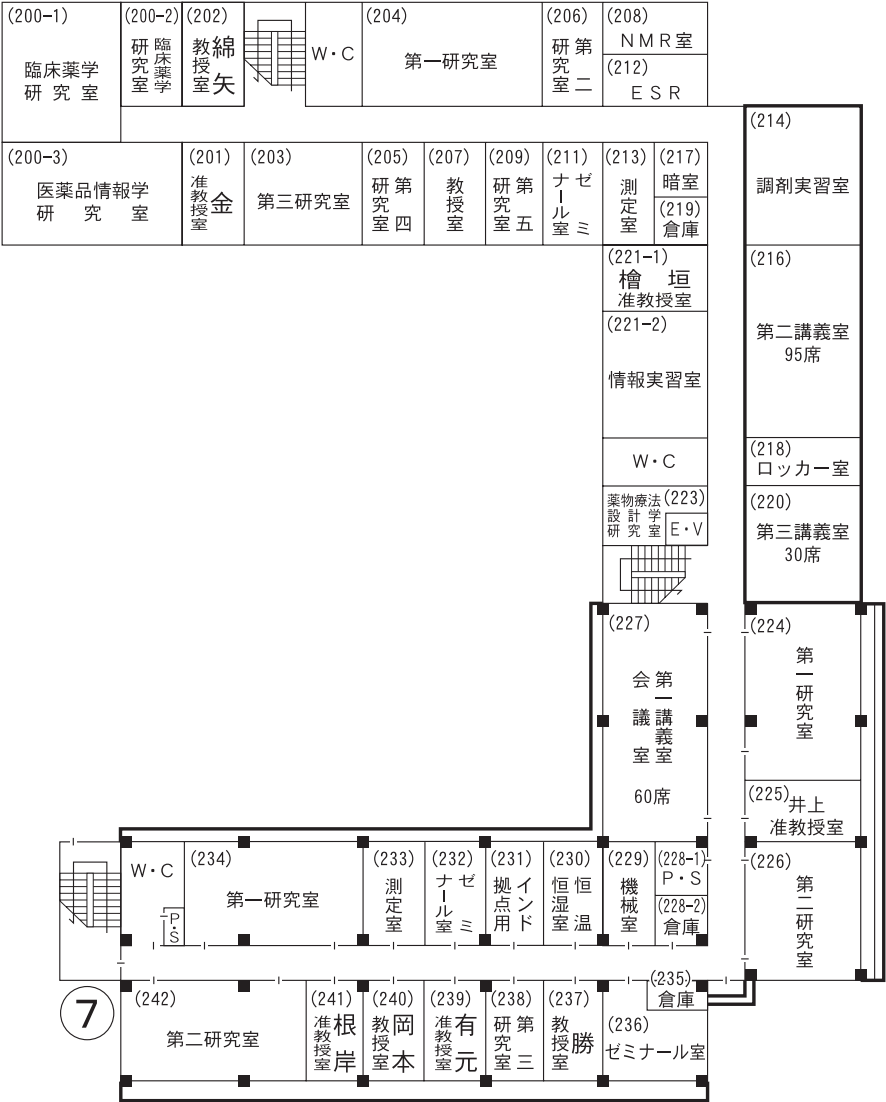
(1F)

危険物薬品貯蔵庫

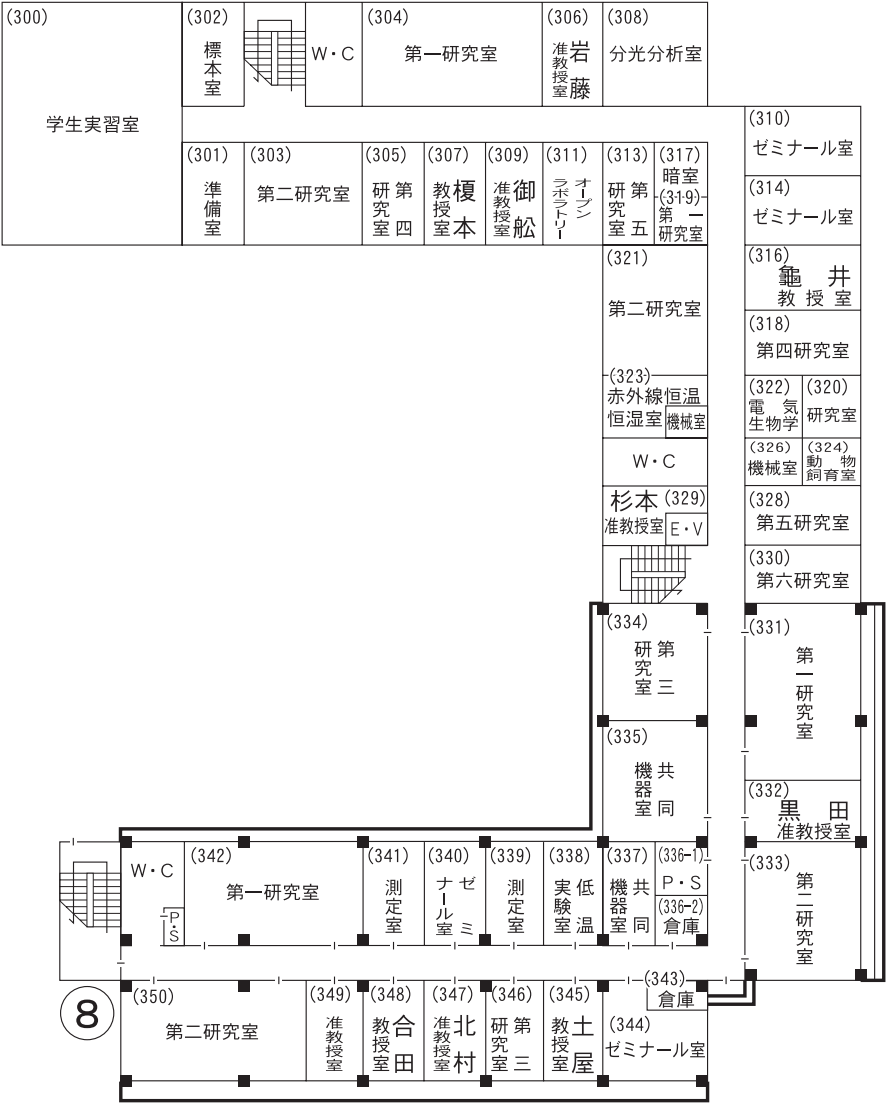
第四類	第二類	第一類	第六類	第三類	第五類
-----	-----	-----	-----	-----	-----



(2 F)



(3 F)



(4 F)

